



高水地協ニュース

〒383-0025 中野市三好町 1-1-19 Tel.0269-23-0505 Fax.0269-38-0575

連 合 長 野
高水地域協議会

○ 発行責任者 荻原 公和
○ 編集責任者 岩本 淳一

2016 高水地域列島クリーンキャンペーン実施

北信地連：中野市七瀬信号機付近を中心とした清掃活動

須高地連：須坂花火大会あとの清掃・片付け作業

連合長野の活動方針に基づく本年度の高水地域列島クリーンキャンペーンは、須高・北信両地連において、構成組織組合員の参加を募い、それぞれが設定した日程で、昨年同様の地域内清掃活動を実施しました。

<北信地連>

昨年同様に、国道 403 号線と国道 292 号線（飯山市方面および山ノ内町方面）が接続される中野市七瀬の信号を起点に、3 班に分かれて沿線の清掃活動を実施しました。作業時間はおよそ 1 時間です。

この日は今年一番の猛暑（31℃）となり、開始間もなく参加者の額や背中から汗が滴り落ち、首に巻いたタオルで拭い、そして十分に水分補給をしながら、沿道のゴミ（タバコの吸い殻、空き缶や使用後のペットボトルなど）拾いを行いました。

参加者からは「自家用車の車窓からは中々目に付か



北信地連列島クリーンキャンペーンの参加者

<須高地連>

こちらも昨年同様、須坂市商工会議所主体の「第 29 回須坂みんなの花火大会」が開かれた翌日早朝、臥竜公園に隣接の百々川緑地周辺を清掃する「須坂みんなでクリーン大作戦」へ須高地連の構成組合員が参加し、清掃活動に汗を流しました。

このボランティア活動は、市民の花火大会となった



立体交差(歩道)の死角箇所でもゴミ拾いを行う

ないゴミが、こうして歩きながら視線を下に向けると相当な量が散らかっていることに気が付かされた」「特に、死角となる箇所にはゴミの山ができています。扇動心理の現れだ」「地下道では、惣菜やカップ麺の容器だとか、汚物がそのままになっているなど、通行するのは不気味だし勇気がいるよね」などの声が聞かれ、閉会挨拶では「ひとり一人が徹底してゴミを持ち帰るようになれば“綺麗な街づくり”になる。まずは私たちから行動に移しましょう」と締めくくり、無事に作業を終了しました。

実施日：2016 年 8 月 7 日（日）

場 所：中野市七瀬地区

1 班は江部方面、2 班は飯山方面、3 班は志賀方面

時 間：午前 8 時から 1 時間程度

参加者：22 単組／36 名（家族、地連役員含む）

収集量：約 26 kg

2010 年から「後片付けも皆でしよう」と、実行委員会が一般市民にも参加を呼び掛けて実施しており、今年は北陸コカコーラボトリング長野支店が飲料水を提供し、いくつかの市内企業も地域貢献活動として参加する姿も見られ、須高地連（55 名参加）を筆頭に多くの参加者が集った清掃活動となりました。

作業は、観客席の百々川右岸はもとより、花火の



須高地連受付ブースの様子

燃えかすが飛散した左岸一帯で行われ、隣接する葡萄園の農道も見回っていました。今年は、花火の打ち上げ時に風が川上へ吹いていたため、くだもの街道など東側エリアを重点に活動範囲を広げて丁寧かつ見落としのない清掃作業に努めていました。

須高地連の荻原会長（地協議長）は、「清掃活動は連合長野の列島クリーンキャンペーンの一環として毎年多くの構成組合員に参加をいただいている。今年もまた食べ残しのパックや空き缶などが結構散乱しているなど、残念ながら心ない人がいる現実がある。マナーを守り、きれいな花火をきれいな心で見ましよう」と訴えていました。最後に事務局の須坂商工会

議所は、「後片付けまで自分たちでやってこそ、真の市民花火大会。多くの皆さんにご参加いただき感謝したい」と締めくくり、無事に清掃活動を終了しました。

実施日：2015 年 7 月 24 日（日）

場 所：須坂市百々川緑地周辺

時 間：午前 6 時 30 分から 1 時間程度

参加者：11 単組／55 名（地連役員・事務局員含む）

収集量：約 50 kg



夜空に打ち上がる
大輪の花火



ゴミを回収し作業終了

連合『平和行動 in 広島』に参加して（8 月 4 日～6 日の 3 日間）

議長代行 戸島 裕司



原爆投下 71 年が経つ広島のシンボル
“原爆ドーム”

8 月 4 日～6 日、平和行動 in 広島に参加しました。

4 日は、呉市海事歴史科学館（大和ミュージアム）を見学、5 日は、「広島平和祈念資料館」を見学し、その後、ピースウォークに参加し連合広島の青年・女性委員会による案内で、広島平和記念

公園内の慰霊碑やモニュメントを見て説明を受けました。

続いて、「連合 2016 平和ヒロシマ集会」に参加しました。広島県原爆被害者団体協議会の坪井直理事長の被爆体験証言、また、スイス・ジュネーブの国連欧州本部に「高校生 1 万人署名簿」を手渡し、核兵器廃絶を訴えるスピーチなどを行った高校生平和大使の活動報告がありました。高校生平和大使の「私たちは微力だけど無力じゃない」というメッセージがとても

印象に残りました。

6 日は原爆死没者慰霊式・平和祈念式が行われ、平和宣言で、松井一実広島市長は、核保有国の指導者などに広島を訪れ実相に触れるよう要請しました。子ども代表の中奥垂穂さんと青木優太君は「平和への誓い」を発表し、「私たちには、被爆者から託された声を伝える責任がある。命の尊さを、平和への願いを、私たちが語り伝えていく」と訴えていま



広島集会に参加した連合長野の面々

した。

今回 8 月 6 日という特別な意味を持つ日に広島に訪れることができ、関係者の深い苦しみと癒されることのない悲しみ、これまで幾多の苦難を乗り越えてこられた努力、そして後生に核兵器の恐ろしさや戦争の悲惨さを伝え、恒久の平和を願う思いを感じることができた大変有意義な 3 日間でした。

<原爆被害の概要>

※広島市のHPより

昭和 20 年(1945 年) 8 月 6 日、月曜日の朝は快晴で、真夏の太陽がのぼると、気温はぐんぐん上昇しました。

深夜零時 25 分に出された空襲警報が午前 2 時 10 分に解除され、ようやくまどろみかけていた人々は、午前 7 時 9 分、警戒警報のサイレンでたたき起こされました。この時はアメリカ軍機 1 機が高々度を通過していただけだったため、警報は午前 7 時 31 分に解除されました。一息ついた人々は、防空壕や避難場所から帰宅して遅い朝食をとったり、仕事に出かけたりと、それぞれの 1 日を始めようとしていました。



慰霊碑に献花

この時、広島中央放送局では、情報連絡室から突如、警報発令合図のベルが鳴りました。古田アナウンサーは、警報事務室に駆け込んで原稿を受け取り、スタジオに入るなりブザーを押し、「中国軍管区情報！ 敵大型 3 機、西条上空を……」と、ここまで



広島に投下された原爆のきのこ雲(米軍撮影)

読み上げた瞬間、メリメリというすさまじい音と同時に、鉄筋の建物が傾くのを感じ、体が宙に浮き上がりました。

昭和 20 年(1945 年) 8 月 6 日午前 8 時 15 分。人類史上最初の原子爆弾が、広島に投下されました。

原子爆弾は、投下から 43 秒後、地上約 600 メートルの上空で目もくらむ閃光を放って炸裂し、小型の太陽ともいえる灼熱の火球を作りました。火球の中心温度は摂氏 100 万度を超え 1 秒後には最大直径 280 メートルの大きさとなり、爆心地周辺の地表面の温度は 3,000～4,000 度にも達しました。

爆発の瞬間、強烈な熱線と放射線が四方へ放射されるとともに、周囲の空気が膨張して超高圧の爆風となり、これら 3 つが複雑に作用して大きな被害をもたらしました。

原爆による被害の特質は、大量破壊、大量殺りくが瞬時に、かつ無差別に引き起こされたこと、放射線による障害がその後も長期間にわたり人々を苦しめたことにあります。

参院選の当選報告

※報告の機会がありませんでしたので、あらためて本紙に掲載します。

6 月 22 日公示・7 月 10 日投開票で施行された第 24 回参議院議員通常選挙において、長野県選挙区では連合長野の推薦候補者「杉尾ひでや(民進党新人)」氏、比例代表では各産別の組織内候補者 12 名全員の当選をめざして、それぞれの構成単組が組織の総力を挙げて取り組んでいただきました。

民主党は、維新の党と合流して「新進党」となったものの依然として支持率は低迷、とりわけ公職選挙法改正(1 票の格差是正による定数の 10 増 10 減)により長野県選挙区の定数は 4 名⇒2 名となり、今選挙

第 24 回参議院議員選挙へのご支援ご協力ありがとうございました。昨日の投開票の結果、極めて厳しい情勢の中、長野県選挙区は終盤の追い込みで逆転勝利に繋げることができました。しかし、比例区は全体で

ではこの内の 1 名を選出するという、自民党優位の厳しい情勢下の戦いとなりましたが、県選挙区では 2 位の候補に 7 万 4 千票の差を付け、杉尾ひでや氏が見事に当選しました。また、比例代表では産別の組織内候補者 12 名全員とはいかなかったものの、この内 8 名を当選させることができました。

ここでは、構成単組代表者に向けて投開票日の翌日に荻原議長が発信した「杉尾ひでや当選御礼」の文書を掲載し、各位に本選挙戦の取り組みに対するお礼を申し上げます。

11 議席に留まり、連合組織内候補 12 名は多くの仲間が奮闘し、取り組みを重ねたにも関わらず 8 名の当選となりました。この間、大変厳しく難しい選挙で組織内や地域において連日ご奮闘いただきました



杉尾ひでや当選御礼

<最終得票数>

574,052 票（当選）

参考）若林健太：499,974 票
及川幸久：20,350 票

構成単組の皆さん、そして組合員・ご家族の皆様にご心から感謝申し上げます。

連合長野が、この間取り組みを進めてきた「クラシノソコアゲ応援団キャンペーン」の集大成として、組織の総力をあげた闘いを展開し「共感と広がり」につなげていただきました。構成単組の皆さまには、これまでにない環境下での体制構築を余儀なくされたことや、いままでの常識を超えた選挙を操作する大きな力、そして報道各社による序盤・中盤の厳しい情勢分析等にもくじけず、県下各地で最後まで諦めることなく働く者・生活者の暮らしの底上げを訴え続けていただくと、連日連夜にわたる取り組みを進めていただきました。

私たち働く者や生活者が求める政策・制度実現にあたっては、働く者の立場に立って政策・制度を立案し、国会をはじめとする各級議会の政治の場を通して、その実現に向けた活動が必要となります。私たちは引き続き、「働くことを軸とする安心社会」の実現に向け、真に暮らしと雇用の安定・向上に繋がる取り組みを継続し前進を図っていかねばなりません。

労働組合の福祉機関を活用しよう。※詳しくは、皆さんの労働組合へお尋ねください。



<ろうきん>は、働く人の夢と共感を創造する
協同組織の福祉金融機関です。

ろうきんローソク
【キャンペーン】
2016年4月1日(金)～9月30日(金)

スマホで
仮審査が
できる

ご融資金利
固定金利
店頭表示金利 年 1.85%
※年利0.20%の金利引き下げが適用

変動金利
店頭表示金利 年 1.60%
※年利0.20%の金利引き下げが適用

年 1.65%
年 1.40%

今次選挙戦において、連合組織内候補・推薦候補の当選に向け、昼夜を問わず献身的に取り組んでいただいたすべての構成単組の役員・組合員の皆様に心からお礼を申し上げますとともに、政策制度実現に向けた運動に対し引き続きのご支援とご協力をお願い申し上げます。

2016 年 7 月 11 日 高水地協議長 荻原 公和



<産別組織内候補の比例代表当選者>

敬称略

1 位	小林 正夫（電力総連）	292,313 票獲得
2 位	浜口 誠（自動車総連）	257,710 票獲得
3 位	矢田 稚子（電機連合）	215,412 票獲得
4 位	川合 孝典（UA ゼンセン）	194,482 票獲得
5 位	難波 奨二（J P 労組）	191,490 票獲得
6 位	江崎 孝（自治労）	183,706 票獲得
7 位	那谷屋正義（日教組）	176,118 票獲得
8 位	石橋 通宏（情報労連）	171,101 票獲得

2016年2月 制度改定

安全運転のあなたを全力で支える

マイカー共済

自動車総合補償共済

選ばれ続けて
継続率
約 94%

全労済

以上